

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛先) 京都府知事		平成23年 7月 日
住所 (法人にあっては、主たる事務所の所在地) 京都府久世郡久御山町佐山新開地128番地		氏名 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 京都機械工具株式会社 代表取締役社長 宇城 邦英
環境マネジメントシステムの名称	ISO14001	
適用範囲	本社事務所 久御山工場	
導入年月日	1999年 12月 28日	
認証番号	JQA-EM0680	
基本方針	<p>私たちは地球環境を向上させる為、循環型社会への貢献にこだわり、継続的な環境改善を推進します</p> <p>1. 環境に配慮した事業活動を推進します</p> <p>①環境に配慮した製品開発活動を推進します</p> <p>②リサイクルに徹底した生産活動を推進します</p> <p>③環境保全をグループ会社はもとより協力会社へも展開します</p> <p>④地球にやさしい環境技術を開発します</p> <p>2. 法規制及び環境要求事項への対応を図ります</p> <p>①環境関連の法遵守はもとより、予防管理を推進します</p> <p>②環境に関連する利害関係者からの要求に確実に対応します</p> <p>③循環型の社会貢献活動へ積極的に参画すると共に、自然保護にも努めます</p> <p>3. 環境方針を実現するため、環境マネジメント・環境リスクの継続的改善を行います</p> <p>* 環境方針は社員への周知を行うと共に、環境への取組みは広報展開します。</p>	
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標 (以下「目標」という。)	<p>評価体制の確立と3R (リデュース・リユース・リサイクル) に徹した生産・製商品を目指す。</p> <p>①法的要求事項の継続順守とリスク管理強化 違反(届出遅延など)及び緊急発生件数 0件</p> <p>②製品の環境負荷低減活動の強化 ・グリーン調達、社内評価の充実 計画実施率 100%</p> <p>③省エネ・廃棄物の改善活動の推進 ・省エネ エネキ-消費原単位 2%削減 ・廃棄物処理経費 15%削減</p>	
目標を達成するための取組の内容	<p>製品環境・省エネ・廃棄物の3分科会を立ち上げて目標を達成すべく取り組む ・分科会開催 (1回/月) 実施計画作成、計画の進捗管理、環境責任者会議への報告 ・環境責任者会議開催 (1回/月) 各分科会の実施計画レビューとフォロー</p>	
目標を達成するための取組の進捗状況	<p><開催及び取組の状況> ()内は分科会の開催率</p> <p>廃棄物 (83%) 分別・有価物化の推進による効果確認</p> <p>省エネキ- (67%) 省エネタイプ機器への設備更新、設備の維持管理による適正使用、生産工程の高効率化等様々な取組により、効果確認</p> <p>グリーン (108%) グリーン調達基準の制定～運用計画の策定</p> <p>環境責任者会議 (100%) 各分科会の計画運用状況をチェックし、指導・提言をおこなう。</p>	
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	<p>製品環境 実施計画達成率 83.3% (未達成)</p> <p>省エネ Δ11.7% (達成)</p> <p>廃棄物 Δ14% (未達成)</p> <p>分科会PD→環境責任者会議C→分科会AのPDCAが効率よく機能したことにより、製品環境及び廃棄物は未達であるが次年度以降につながる良いしくみができたと評価できる。</p>	
事業活動に係る法令の遵守の状況	<p>行政機関への届出は実施計画を作成し進捗管理を行う。また水質・大気・騒音・振動等の測定を定期的実施している。いずれも事業所のパフォーマンスとして環境責任者会議へ報告し妥当性評価を行う。→結果として法令の遵守の状況は良好である。(行政指導なし)</p>	
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	<p>分科会活動を推進したことにより、パフォーマンスを向上させる手段は確立した。環境法令の遵守を継続すべく、体制の更なる強化を目指す。</p>	

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムの内容について第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。